

第7回日露エネルギー・環境対話イン新潟 「新潟アピール2014」

2014年10月30日 於：新潟市

新潟はロシアを始めとする対岸諸国との間で長い交流の歴史を持っている。それに加えて、石油・天然ガス・石炭と言ったエネルギーの受け入れ基地でもあり、県内の産業や民生部門で利用し、更に、石油や天然ガスを国内他地域に中継輸送する拠点として重要な役割を担っている。また、新潟にはエネルギー関連技術の開発・製造に携わる企業が多くある。この様なことを考慮すると、新潟で「日露エネルギー・環境対話」を開催する意義は大きい。

そこで、この「対話」の主催者である新潟県、新潟市およびERINAは、今次「対話」の成果を考慮に入れ、また、日ロ間のエネルギー・環境協力が進展することにより、北東アジアの平和と繁栄、延いては広く世界のエネルギー安全保障の強化に繋がることを確信し、中央・地方の産学官が一体となった「対話」の取組をさらに持続・拡大させることを願って、以下を提案する。

- ・「第7回日露エネルギー・環境対話」は所期の目的を悉く果たすことが出来た。「対話」の魅力と「対話」が果たす役割を国内外に発信し、「対話」を持続発展させるべく努力する。
- ・「対話」が具体的な協力を繋がることを願って、成功事例を増やし、新潟他地方企業がビジネスマッチングに参画出来る可能性を追求する。
- ・新潟は、我が国のエネルギー産業において、受入基地や中継拠点としての役割を果たしており、産業や生活でも利用しているため、その様な優位性を更に強化すべく努める。
- ・「対話」を通じて、関係国との人的交流の拡大が北東アジア地域のエネルギー安全保障に繋がり、延いては、平和と繁栄をもたらすことを願う。

以上